機械金属産業・サプライヤーの
仲間のために

JAM

Japanese Association of Metal,
Machinery, and Manufacturing workers

目　次

1. みんなが主役の産業別労働組合JAM
   1）JAMとは機械・金属産業の労組の結集軸
   2）JAMの主役は単組・組合員
   3）中小労働者を代表するJAM
2. 単組活動のサポート
   ①地方JAM、②本部体制、③業種別部会
3. スケールメリットを活かしての活動
   1）労働条件を良くする
   2）暮らしと生活を良くする
   3）人と組織を育てる
   4）みんなで助け合う
   5）健全な労使関係の構築
   6）人と組織を守る
4. 加盟に向けてのQ＆A
   1）加盟の必要性は？
   2）加盟した場合の会費は？
   3）会社・経営者の理解は？

機械・金属産業労組の結集軸
中小労働運動を推進するJAM

Japanese Association of Metal, Machinery, and Manufacturing Workers

金属　機械　モノづくり

JAMは、機械・金属産業を中心とする産業に働く仲間38万人が結集する産業別労働組合です。

JAMは職場における働き方をはじめ、企業活動をとりまく産業社会、私たちの生活をとりまく地域社会など、あらゆるステージにおいて社会的な不公平のない社会を追い求めます。このためJAMは、社会的信頼をバックボーンとした労働組合としての社会に対する影響力の発揮をめざし、企業内での「対等」を原則とした健全な労使関係を築き上げ、「人」を大切にしながら「助け合い」をベースとする、民主的な労働運動を展開しています。

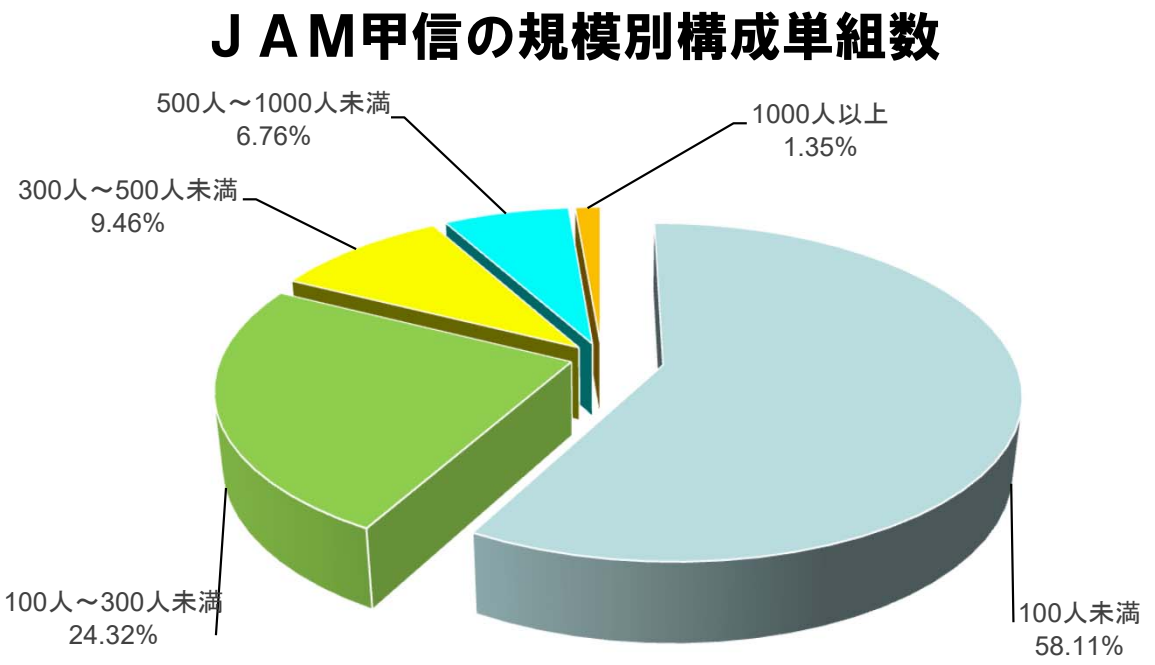
JAMの主役は単組・組合員

JAMには、機械、電機、自動車、車両、精密機器、アルミサッシ、鋳鍛造、鉄鋼、住宅関連機器など、ものづくり産業を中心とする約1,800の単位労働組合（その支部を含めると2,000を超える単組）が加盟しています。

JAM加盟単組の特徴は、日本のものづくりを支えているサプライヤー（部品供給者）が数多く含まれ、100人以下の組合が組織数の約6割、4分の1が30人以下の組合で占められていることです。

１万人近い単組も30人の単組もそれぞれが主役となり、地方JAM、業種別部会、大手労組会議の3本柱の活動体制に参画し、大会をはじめとする各機関を民主的に運営しています。

JAMは、少数意見も大切にする、「みんなが主役の産業別労働組合」です。



単組が主役のJAM組織構成

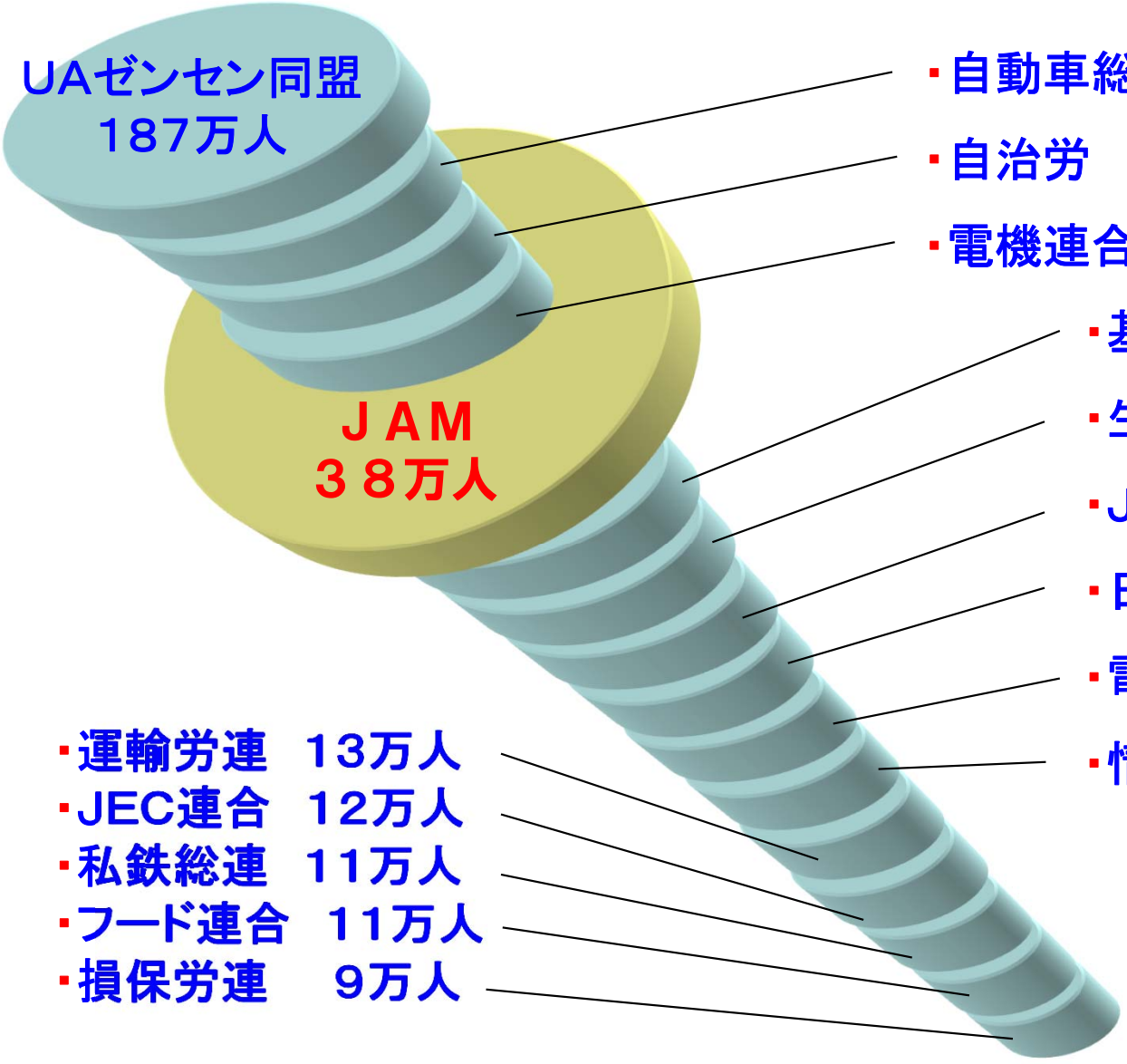
ものづくりと中小労働者を代表して

連合（日本労働組合総連合会）を構成する45の産業別労働組合の中で、JAMは5番目の勢力を占めています。ともすれば超大手企業労組と官公労組の運動といわれている連合運動の中で、JAMはものづくりを担う機械金属産業の代表であると同時に、中小企業に働く仲間の視点に立った主張・行動を展開しています。

わが国勤労者の大多数を占める中小企業に働く仲間の視点に立った運動の確立は、きわめて重要なことです。連合の中小労働運動センターの活動はもとより、雇用・労働、福祉・社会保障、男女共同参画社会などをテーマに展開されている連合の政策・制度要求の活動に、JAMは積極的に参画。まさに、ものづくり産業における中小労組の結集軸としての役割を果たしています。

また、金属労協（JCM）の活動にも、JAMは積極的に参加し、世界各国のIMF（国際金属労連）加盟組織との交流や共同行動を通じて、金属産業に働く仲間との国際連帯をはかっています。

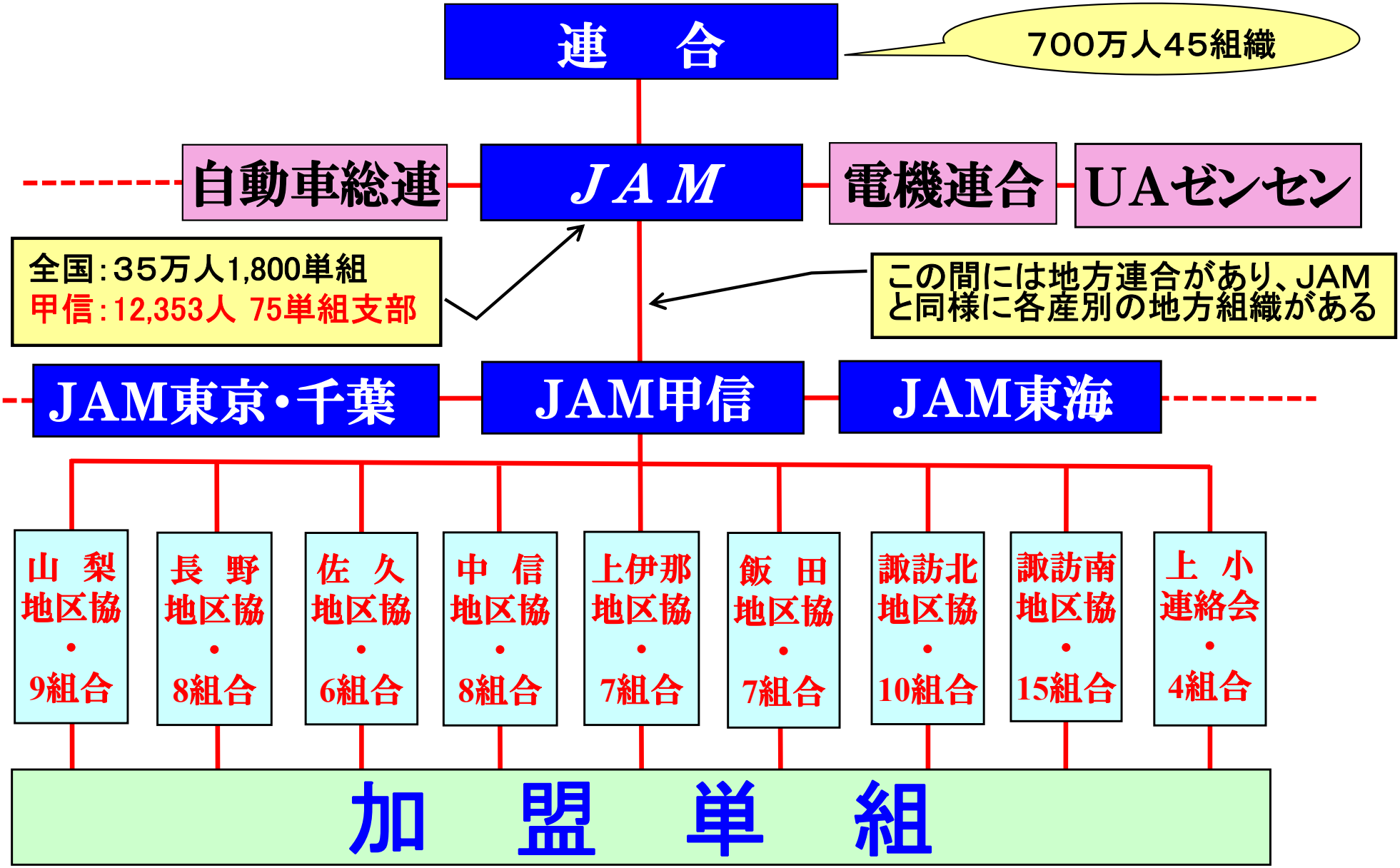
連合の主なメンバー



- 自動車総連　79万人
- 自治労　73万人
- 電機連合　57万人
- 基幹労連　27万人
- 生保労連　24万人
- JP労組　23万人
- 日教組　22万人
- 電力総連　20万人
- 情報労連　19万人
- 運輸労連　13万人
- JEC連合　12万人
- 私鉄総連　11万人
- フード連合　11万人
- 損保労連　9万人

※JAMの38万人は共済ユニオンの組合員：3万名を含んでいます

■連合・単産・単組のつながり



JAMの主な加盟組合

愛知時計電機労組
旭テック労組
井関農機労組
市光工業労組
NOKグループユニオン
NTN労組
エンシュウ労組
オーエスジー労組
オークマ労組
大阪機工労組
カシオ労連
KYB労組
カワイ労連
キッツ労組
京三製作所労組
近畿車輛労組

クボタ労連
栗本鉄工所労連
小糸製作所労組
KIホールディングス労組
コマツユニオン
コロナ労組
三協立山アルミ労組
サンデン労組
CKD労組
シチズン労組
島津労組
シマノ労組
ジーエス・ユアサ労組
JUKI労組
新電元工業労組
スタンレー電気労組

セイコー労連
全矢崎労組
ソミック石川労組
ダイキン工業労組
大同工業労組
太平洋工業労組
タカラスタンダード労組
タダノ労組
津田駒工業労組
椿本チエイン労組
TDK労組
ティラド労組
TPR労組
東急車輛労組
東京計器労組
東京製綱労組

東芝機械労組
ナブテスコ労組
ニコン労組
日本車輌名古屋労組
日本精機労組
日本精工労組
日本製鋼所労組
日本製鋼所室蘭労組
日本電子連合労組
日本飛行機労組
日本ビクター労組
日本ピストンリング労組
浜松ホトニクス労組
不二越労組
不二サッシユニオン
豊和工業労組

ホシザキ電機労組
ボッシュ労連
マキノ労組
ミツトヨ労組
三菱農機労組
ミツミユニオン
ミネベアユニオン
美和ロック労組
村田機械労組
山武労組
ヤンマー労組
横河電機労組
リケン労組

■JAM甲信の加盟単組・支部

◆山梨地区協議会

単組・支部名	人数
TDK労働組合　甲府支部	333
キッツ労働組合　長坂支部	323
シチズン労働組合　河口湖支部	449
JAMキトー労働組合	592
JAM宮入バルブ労働組合	91
JAMマキノ労働組合　勝山	262
北富士オリジン労働組合	43
オリエンタル産業労働組合	49
JAM山梨旭ダイヤモンド労働組合	57
9単組支部	2,199

◆佐久地区協議会

単組・支部名	人数
TDK労働組合　千曲川支部	73
TDK労働組合　浅間支部	369
JAM東京マイクロ労働組合	47
シチズン労働組合　ミヨタ支部	394
JAMシチズンマシナリーユニオン	376
ミネベアユニオン　軽井沢支部	249
6単組支部	1,508

◆中信地区協議会

単組・支部名	人数
サンコー労働組合　堀金支部	150
サンコー労働組合　松本支部	78
カワイ精密金属労働組合	82
JAMカイジョー労働組合　松本支部	41
電算印刷労働組合	26
JAM　HDS労働組合	310
HDS労働組合　HAD支部	38
JAM南安精工労働組合	8
8単組支部	733

◆長野地区協議会

単組・支部名	人数
都筑製作所労働組合	365
JAMアピックヤマダ労働組合	250
JAMアイテクノ矢嶋労働組合	94
JAM長野鍛工労働組合	23
JAM炭平製作所労働組合	42
信濃電気製錬労働組合	55
サクラ精機労働組合	187
KYB－YS労働組合	688
8単組	1,704

2007年・JAM甲信統合大会
（第9回定期大会）

2019年・JAM甲信20周年記念式典
（第21回定期大会翌日）

◆上伊那地区協議会

単組・支部名	人数
キッツ労働組合　伊那支部	334
ﾁｭｰﾌﾞﾌｫｰﾐﾝｸﾞ労働組合　長野支部	13
JAMタカノ労働組合	321
NTN労働組合 長野支部	153
エビヤ鉄工設備労働組合	5
JAMトーハツ労働組合	293
NTN上伊那製作所労働組合	220
7単組支部	1,339

◆飯田地区協議会

単組・支部名	人数
JAMシチズン労働組合飯田支部	200
JAM多摩川精機労働組合	445
JAM日進精機労働組合	31
JAM天竜丸澤労働組合	50
JAMタカモリ労働組合	7
スタンレー伊那製作所労働組合	71
JAM原ホンダ労働組合	5
7単組	809

◆諏訪北地区協議会

単組・支部名	人数
ミクナスFE労働組合	49
JAM　TPR労働組合	477
JAMマルヤス機械労働組合	291
ホステック労働組合	18
エグロ労働組合	90
JAM山二発條労働組合	32
テクロック労働組合	2
杉山労働組合	5
大和電機工業労働組合	308
東京光電諏訪工場労働組合	5
10単組	1,277

◆諏訪南地区協議会

単組・支部名	人数
JAMミスズ工業労働組合	111
小松精機工作所労働組合	238
キッツ労働組合マイクロフィルター支部	103
上原製作所労働組合	25
ライト光機製作所労働組合	138
セリオテック労働組合	39
丸一ゴム工業労働組合	22
SUWAオプトロニクス労働組合	31
キッツ労働組合　茅野支部	316
キッツ労働組合　メタルワークス支部	194
野村ユニソン労働組合	247
JAM　SIMMTECH GRAPHICS労働組合	375
高島産業労働組合	192
シントク労働組合	40
諏訪三社電機労働組合	95
15単組支部	2,166

◆上小地区連絡会

単組・支部名	人数
JAM松山労働組合	296
JAM長野東京精電労働組合	21
JAM長野アップルハウス労働組合	3
JAMシンポ労働組合上田支部	137
4単組支部	457

ＪＡＭ甲信　　７４単組支部　12,192　人
交渉単位単組　６９単組
※キッツ幕張及び営業分会：348人を加えると７５単組支部12,353人

新加盟組合

単組活動をサポート　その1

★地方ＪＡＭと地区協活動をベースに

　すべての加盟組合は、それぞれ所在地をエリアとする地方JAMに所属します。全国をくまなくカバーし、複数県にまたがる広域または、単県に設置された17の地方JAMとその下に設置された地区協議会が、活動の拠点となっています。

　地方JAMには、専従者が全国で120名配置され、地区協運営と加盟単組の日常活動をきめ細やかにサポートしています。

JAM甲信の書記局紹介

JAM甲信には、５人の専従職員が配置されており、日常の単組活動、地区協活動の他、共済活動、青年女性協活動、シニアクラブ活動などもサポートしています。

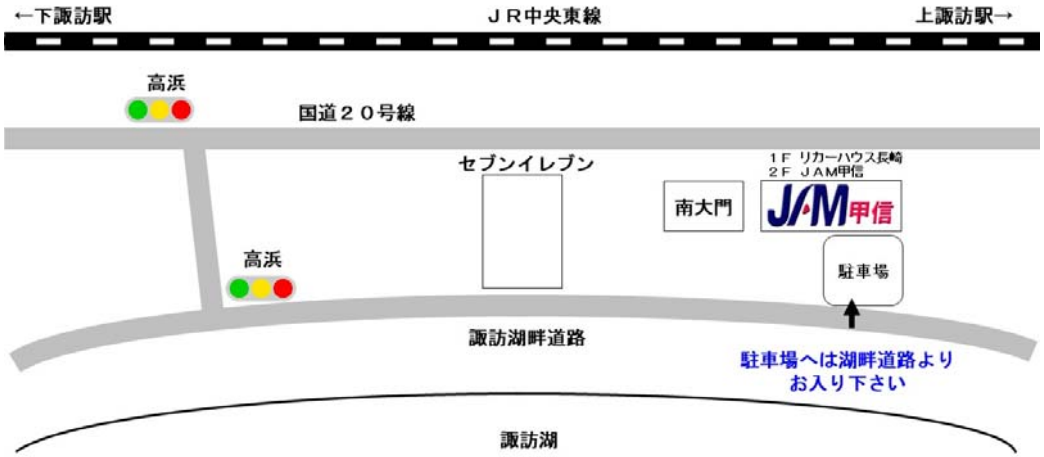
櫻井書記長

佐野副書記長

小林組織部長

中島書記

中村書記

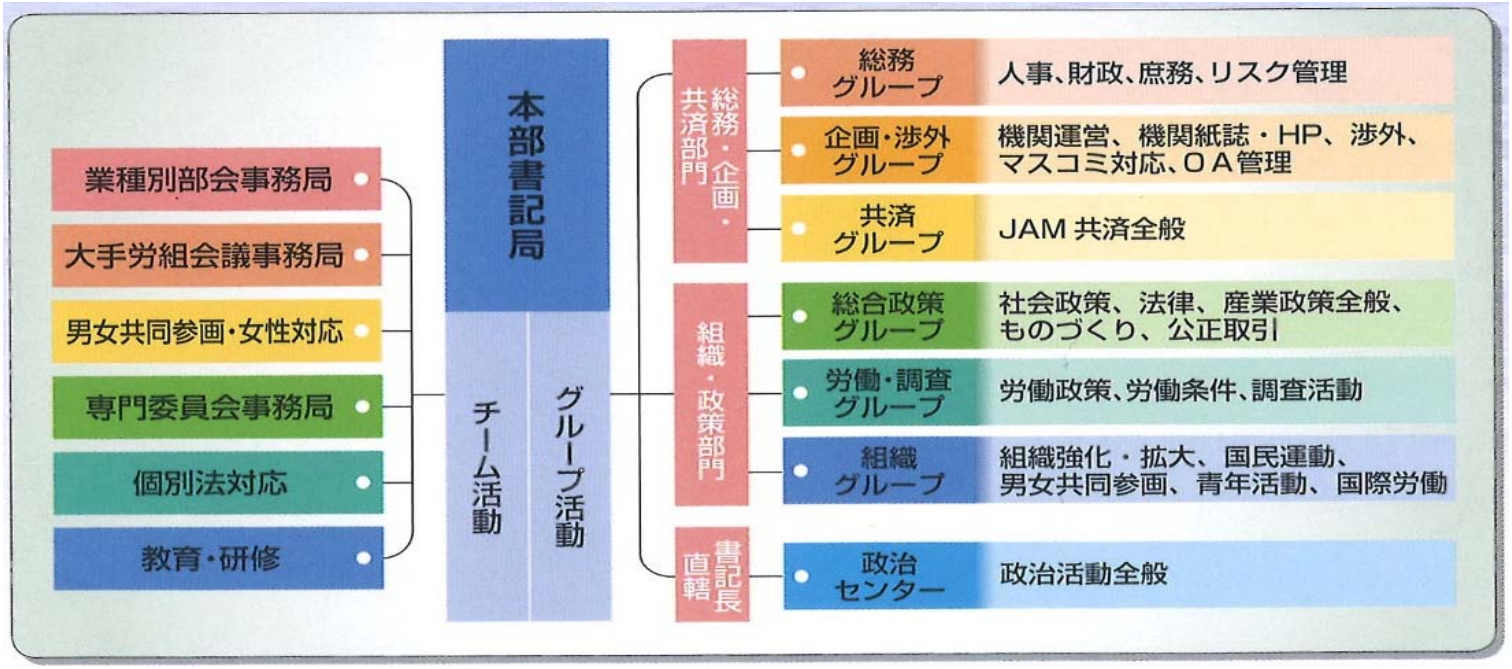


単組活動をサポート　その2

★50人体制で地方ＪＡＭ・単組をバックアップ

　各地方JAMや加盟組合への的確な情報発信・支援・指導を行う本部には、50人の専従者を配置し、地方・業種・大手を通じて展開される運動方針・闘争方針、調査活動や政策提言など、各種活動計画の立案にあたるなど、全国的な運動を推進しています。機関紙・機関誌が毎月発行されて活動内容が紹介される他、共済の給付事務等が処理されています。

JAM本部の体制



単組活動をサポート　その3

★業種の特徴にあわせて・・・

JAMの業種別部会活動は、産業中分類を基本に15の業種別部会を設置するとともに、一部で業種別部会の下に更に細分化させた専門部会を構成。労働条件と企業実態の情報交換をもとに相互の組合活動への協力・援助を通じて、業種の特徴に合わせた活動に取り組んでいます。また、多くが定期に労使会議を開くなど、労使合同での活動も強めています。

日本のものづくりを守り、更に発展させて行くための産業・業種政策の確立と推進に部会が合同して取り組んでいます。

１５の業種別部会と１つの専門部会

1. 軽金属部会	22単組／ 9,800人	9. 軸受部会	18単組／20,000人
2. 住宅設備部会	17単組／17,000人	10. 工作機械部会	28単組／16,700人
3. 鋳鍛造部会	30単組／ 9,500人	11. 農・建機部会	24単組／11,500人
4. バルブ部会	15単組／ 2,800人	12. 機械部会	34単組／30,600人
5. 鋼構造部会	21単組／ 1,900人	13. 交通関連部会	18単組／ 8,100人
6. ロープ製線部会	27単組／ 3,700人	●内燃機専門部会	7単組／ 2,100人
7. 金属製品部会	36単組／ 5,300人	14. 電機部会	52単組／39,000人
8. 自動車部会	56単組／52,800人	15. 精密時計部会	15単組／19,900人

活動1：労働条件を良くする！

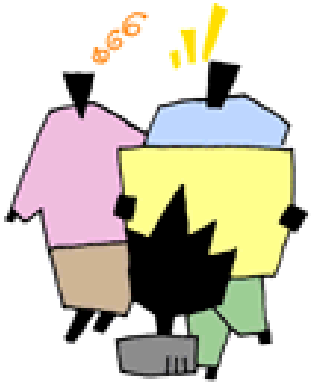
★交渉・闘争へのきめ細かな支援・指導

★各種労働条件・産業情報・資料の提供

★労働協約締結・改訂の促進

★賃金体系・人事諸制度の整備確立

★安全衛生対策の指導



★全組合員賃金プロット図で格差縮小へ

JAMの賃金要求の重要なポイントは、業種間・規模間格差の縮小をいかにはかっていくかにあります。このため、JAMは、全組合員を対象とした賃金全集調査を行い、同一産業における調査としては日本有数のサンプル数(2022年度は約34万1千人)を誇る賃金プロット図を作成。個々の単組における賃金水準の比較分析が可能な資料やプログラムを提供するとともに、この調査により導き出すJAMミニマムを設定した賃金闘争に取り組んでいます。

■JAMの情報はホームページにも満載！

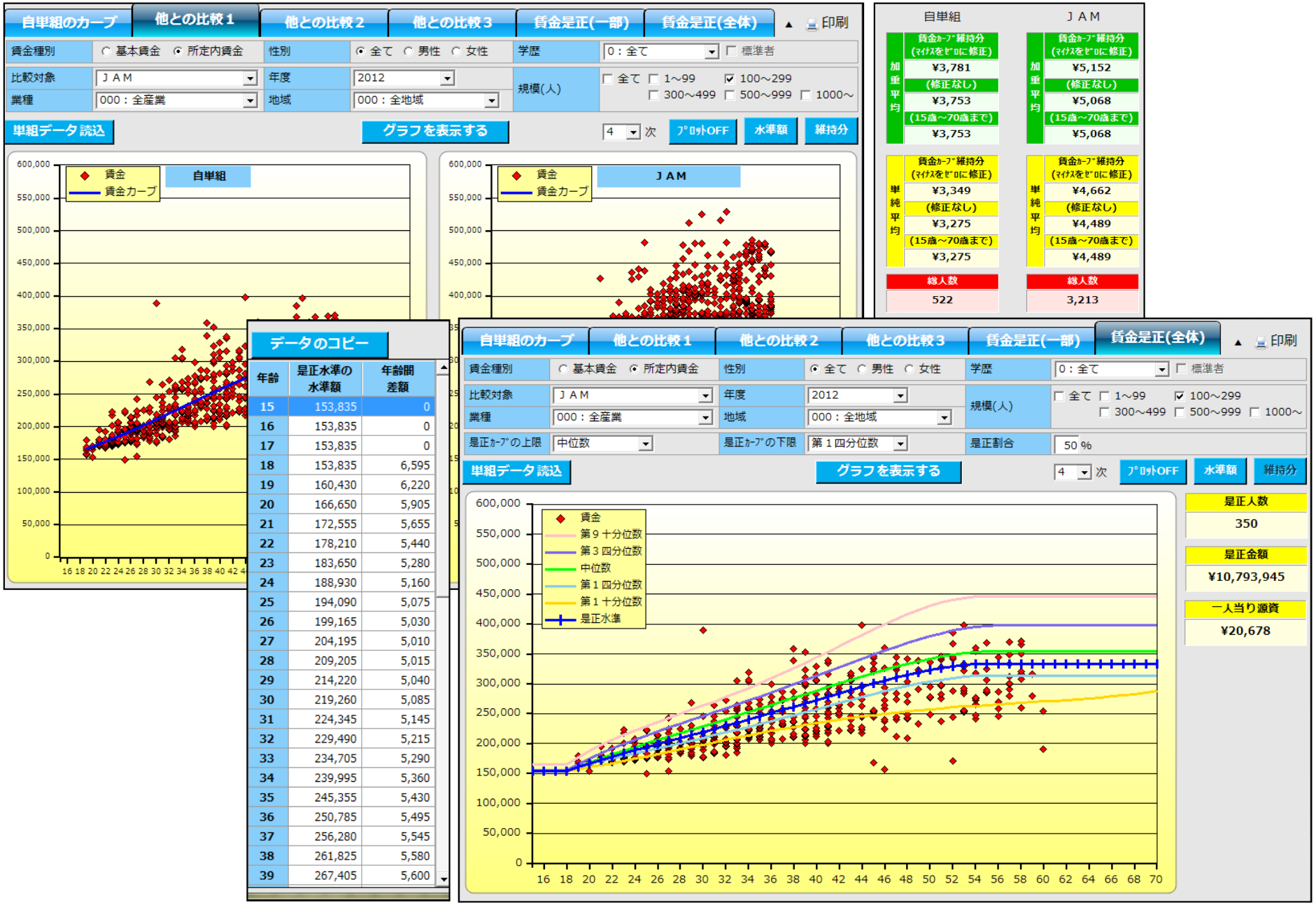
JAM甲信ホームページ

https://www.jamkoushin.com

JAMホームページ

http://www.jam-union.or.jp/

■賃金分析プログラムを利用しての比較



■JAM甲信ニュースの発行と春闘速報の配信

JAM KOUSHIN
2023・8・1
No.049
発行人　杉原孝一
編集人　小林秀樹
長野県諏訪郡下諏訪町南高木10616-66
Tel 0266-28-6011　Fax 0266-28-6088
Email : jam-koushin@mbp.ocn.ne.jp

2023年春闘回答　過去最高

物価上昇を背景に粘り強い交渉が後押し

7月6日現在、69の交渉単位の内、65単組が賃上げに取り組み、64単組で妥結・決定に至っている。（以降カッコ内は昨年最終との比較）

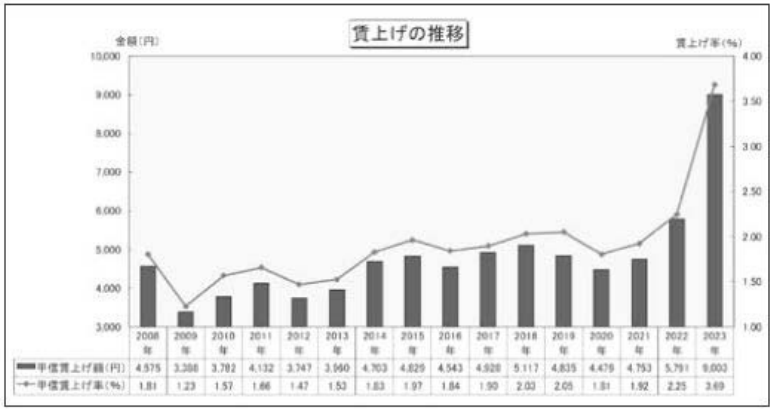
妥結の内訳として49単組（31単組）では、賃金構造維持分に加えて、改善分の回答があった。一方で、取り組みの終盤で2単組（3単組）が要求を断念している。

回答・妥結の平均額は9,003円（＋3,212円）であり、改善分は5,444円（＋2,915円）と、昨年最終実績を大きく上回り、過去最高となった。物価上昇を背景とした賃金交渉に慣れていないことから労使の考え方に開きがあったが、賃上げに対する組合員の期待の高まりを受けて粘り強い交渉を行なったことが結果を後押しした。一方で人材流出防止の観点から世間動向を意識した会社側の判断があったものと推察される。

一時金交渉は今後の状況に注視

また夏季一時金では、妥結・決定に至っているのは44単組である。平均妥結額は現時点で昨年とほぼ同水準となっているものの、今後の状況について注視していく必要がある。

交渉単位数 69単組	賃上げ			一時金		
	額／円	率／%	妥結単組数	妥結月数	平均額／円	妥結単組数
実績	9,003	3.69	64	2.07	634,510	44
昨年最終	5,791	2.25		1.99	635,788	
比較	3,212	1.44		0.08	−1,278	



＊＊おしらせ＊＊
2023年・労働条件調査・賃金全業種調査を展開中です。全単組・支部のご協力をお願いします！

活動2：暮らしと社会を良くする！

★労働基準・税・社会保障など生活・労働条件の改善
★税・社会保険など社会制度の監視と改善
★雇用・産業・業種・環境などについての政策提言と制度の実現
★議員・政党との連携、行政・経済団体への要請
★単組・組合員への政策啓蒙活動
★男女共同参画社会の推進

※写真は2023年の国会見学、友好議員との意見交換会

★ものづくり基本法と公正な取引慣行の確立

モノづくり基盤の再構築を望むJAMの提唱により、モノづくり基本法（ものづくり基盤技術振興基本法）が1999年3月に成立しました。JAMは、45人の組織内議員や友好議員と連携し、この法律に基づいた実効ある施策の実現と、公正な取引慣行の確立による中小企業安定化に向けた施策を、自らの産業政策として要求するとともに、地方行政に関わる組合員の生活課題の解決のために尽力しています。

■最近の法改正とJAMからの資料提供

★法改正にあわせたサポート

01.改正労働者派遣法の施行　（2012.10.1）
02.改正高年齢者雇用安定法の施行（2013.4.1）
03.改正労働契約法の全面施行　（2013.4.1）
04.パートタイム労働法の改正　（2015.4.1）
05.改正労働者派遣法の施行　（2015.9.30）
06.女性活躍推進法の施行　（2016.4.1）
07.労働安全衛生法の一部改正（2016.6.30）
08.育児介護休業法の改正　（2017.1.1）
09.労働安全衛生法の改正・施行（2019 4.1）
10.労働基準法の改正・施行　（2019.4.1）
11.パワハラ防止法の改正・施行（2020.6.1）
12.育児介護休業法の改正・施行（2022.4.1）
13.労働基準法の改正・施行（2023.4.1）

★これらの法改正以外にも・・・
労働保険法や会社法など労働に関わる法改正が毎年のように行われています。

無関心でも無関係でいられないのが政治！

➢組合員と家族の暮らしを改善し、幸せを拡大するためです。

➢税制、社会保障、環境、平和、安全などの問題は、国や地域社会の政治や経済の状況によって大きく影響を受け一企業や一組合では解決できません。

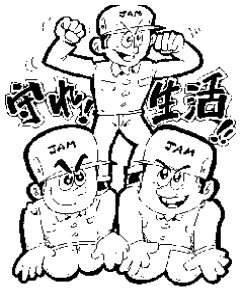
労働組合

生活者

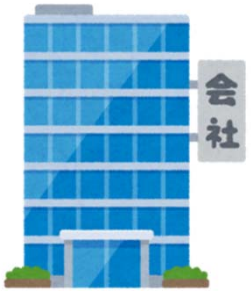
月例賃金
就業規則
人事考課
諸手当

残業代
雇用延長
雇用
働き方改革
女性活躍

税金
社会保障
年金



交渉



議論

準組織内国会議員

■連合や組織内議員との連携

◎連合との連携

企業内組合では、解決できない政策制度課題などに対してJAM加盟＝連合加盟となることから、そのスケールメリットを活かして課題解決に努めています。

◎友好議員・組織内議員との連携

JAMでは全国で45名の各級組織内議員を輩出すると共に、友好議員とも連携し、政策制度課題実現に努めています。

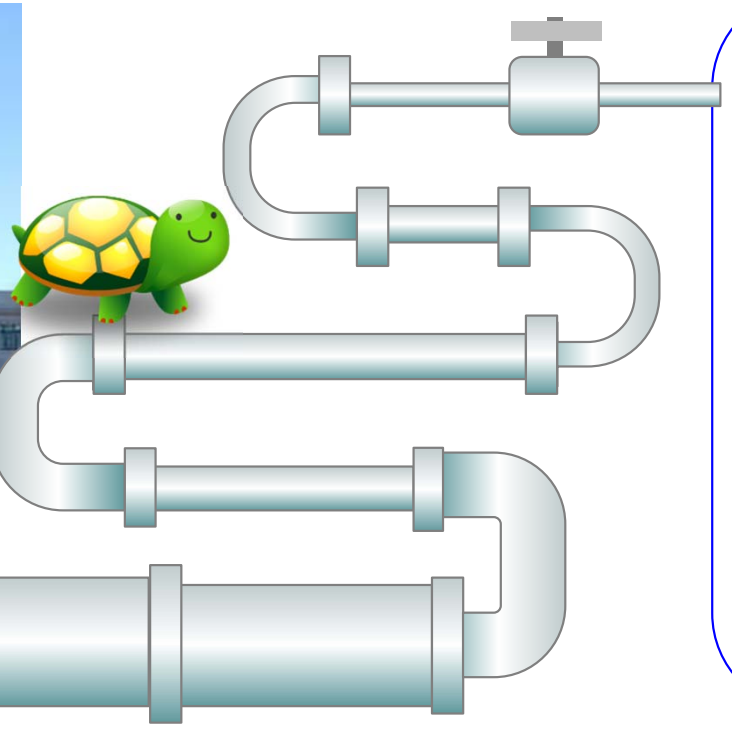
JAM甲信・組織内議員
櫻田　力
南アルプス市議会議員

中島克仁　衆議院議員
(山梨県1区)

羽田次郎　参議院議員
(長野県区)

杉尾ひでや　参議院議員
(長野県区)

JAMの組織内・準組織内議員の必要性



友好議員

地域の友好議員は、県民全体の議員であり、
JAMの優先度は低くなってしまう！

JAM
組合員

JAMの組織内議員や準組織内議員であれば
JAMの課題が最優先！
スピード対応が可能になる

JAM

JAMの準組織内・国会議員（2022年7月・第26回参議院議員・比例代表選挙で初当選！）
村田享子参議院議員、全力で奮闘中！

■村田享子参議院議員の国会における所属委員会と役職

☆立憲民主党内
①党政務調査会長補佐
②党広報本部幹事

☆参議院・所属委員会／役職
①経済産業委員会／委員
②予算委員会／委員
③資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会／委員
④消費者問題に関する特別委員会／委員

☆村田享子参議院議員の活動情報は、情報はFacebook・Twitter・LINEで配信されています

経済産業委員会で質問

予算委員会でサポート

JAM甲信第24回定期大会で御礼の挨拶「応援ありがとうございました」

With You

12月12日安河内会長と経済産業省へ「価格転嫁」の要請行動。
右から、山岡達丸・衆議院議員、安河内会長、太田房江経済産業副大臣、森本真治・参議院議員、村田享子・参議院議員

125,340人の想いの詰まったバッジを胸に頑張ります

連合の掲げるジェンダー平等や子育て支援に向けて頑張ります

2025年・第27回参議院議員・比例代表選挙に向けて
JAM組機内候補予定者 「郡山りょう」始動！

JAMでは2016年7月に津田弥太郎元参議院議員が勇退されて以降、組織内国会議員が不在です。9年振りの議席奪還を図り、2022年に当選された基幹労連出身の村田享子参議院議員とタッグを組んでJAMの政策課題の実現するために「郡山りょう」の必勝を目指します。

こおりやま
郡山りょうのプロフィール

生年月日 1974 年　2月　24 日（満49歳）
出身地：熊本県人吉市、現住所： 愛知県豊橋市

＜ 学歴・職歴 ＞

1992年03月　熊本県立多良木高等学校 普通科 卒業
1992年04月　武蔵精密工業株式会社に入社
～　武蔵精密労働組合執行委員、書記次長、書記長を歴任
2011年10月　武蔵精密労働組合・執行委員長に就任、
2015年10月　JAM東海執行委員、副執行委員長、JAM東海東三河地区協議会議長
2019年10月　武蔵精密労働組合執行委員長を退任
2022年09月　武蔵精密工業株式会社を退社、11月に入局
2023年05月　JAM第42回中央委員会で、2025年の参議院比例代表選挙における、JAMの組織内候補予定者に決まる

郡山りょうの3つの政策

1. 「ものづくり」「中小」を基盤とした くにづくり
2. 公正で安心できる「価値を認めあう社会」
3. 働く者の尊厳を守るワークルール

活動3：人と組織を育てる！

★青年協議会活動

★女性協議会活動

★単組リーダー、指導者の育成

★中央・地方での課題別研修の実施

★各種研修会への講師派遣・紹介

★組合員教育機材の作成

単組役員研修会

★青年協・女性協は広い視野を持ち活動

各地方に地方青年協・地方女性協を設置し、中央には全国青年連絡会議、中央女性協を組織しています。レク活動や研修などの取り組みを通じて若年層・女性の労働組合活動への参画を促し、全国的な連帯を築き上げています。

広い視野も持った次世代のリーダー養成の場としての青年協議会の活動とあわせて、単組を支える機関役員とリーダーを育成する各種の研修機会や組合員向けの豊富な研修機材を提供しています。

■2022～2023年の学習会･研修会の開催状況

	開催日	実施単組･支部	研修内容
1	2022.01.08	シチズン・ファインデバイス本部	春闘研修会・経営分析研修会
2	2022.01.14	松山	春闘研修会（書面開催）
3	2022.01.17	松山	春闘研修会（書面開催）
4	2022.01.29	ＪＡＭ甲信・全単組対象	単組役員研修会③模擬交渉（中止）
5	2022.04.07	信濃電気精錬	新入社員研修会
6	2022.04.08	カワイ精密金属	新入社員研修会（資料提供のみ）
7	2022.04.11	都筑製作所	新入社員研修会（資料提供のみ）
8	2022.06.20	松山	政策制度研修会（Ｗｅｂ開催）
9	2022.06.21	松山	政策制度研修会（Ｗｅｂ開催）
10	2022.06.24	都筑製作所	新入組合員研修会
11	2022.07.11	ライト光機製作所	新入組合員研修会
12	2022.07.19	野村ユニソン	新入組合員研修会（資料提供のみ）
13	2022.07.21	ミスズ工業	新入組合員研修会
14	2022.08.27	シチズン労組飯田支部	職場委員研修会
15	2022.09.12	信濃電気製錬	新入組合員研修会
16	2022.10.01	ＪＡＭ甲信・全単組対象	単組役員研修会①基礎編
17	2022.11.11	ＳＵＷＡオプトロニクス	自家共済研修会
18	2022.11.12	ＪＡＭ甲信・全単組対象	単組役員研修会②経営分析編
19	2022.11.12	ＪＡＭ甲信・全単組対象	甲信広報セミナー
20	2022.11.18	ＴＰＲ	支部執行部、青年部研修会

	開催日	実施単組･支部	研修内容
21	2022.11.19	ＪＡＭ甲信・全単組対象	個別賃金研修会
22	2022.12.02	キトー営業分会	自家共済研修会(職場委員会)
23	2022.12.08	シチズン河口湖	新入組合員研修会
24	2022.12.15	キトー山梨分会	自家共済研修会(職場委員会)
25	2023.01.13	松山	春闘学習会①
26	2023.01.14	シチズン・ファインデバイス本部	春闘研修会
27	2023.01.14	シチズン・ファインデバイス本部	有期雇用契約労働者の組織化
28	2023.01.16	松山	春闘学習会②
29	2023.01.28	ＪＡＭ甲信・全単組対象	単組役員研修会③模擬交渉
30	2023.02.22	シチズン河口湖	新入組合員研修会
31	2023.04.11	信濃電気精錬	新入社員研修会
32	2023.07.07	都筑製作所	新入社員研修会（資料提供のみ）
33	2023.07.10	ライト光機製作所	新入組合員研修会（資料提供のみ）
34	2023.07.18	野村ユニソン	新入組合員研修会（資料提供のみ）
35	2023.07.25	ミスズ工業	新入組合員研修会
36	2023.08.26	シチズン飯田	職場委員研修会
37	2023.09.12	シチズン河口湖	新執行委員研修会
38	2023.09.23	ＪＡＭ甲信・全単組対象	単組役員研修会①基礎編
39			
40			

■男女共同参画の活動（男女参画セミナー・女性組合員の集い他）

JAM甲信では、男女共同参画委員会を設置し、男女参画セミナーや女性組合員の集いなどを開催しています。また、あらゆる会議・行事における女性の参画率：30%を目指しアクションプランを作成するとともにセミナー等を利用し、意識の醸成を図っています。

2023年　女性組合員の集い・Gr討議

2023年　男女参画セミナーで講演される芳野会長と講演後に質問する参加者

2023年　女性組合員の集い・ランチ交流

				女性執行委員											
年度	構成単組支部数	女性組合員比率	全執行委員数	女性執行委員選出単組数	委員長	副委員長	書記長	副書記長	執行委員	小計	選出単組比率	女性執行委員比率	会計監査	特別執行委員	合計
2018年	85	16.4%	604	34	0	6	2	3	40	51	40%	8%	21	5	77
2019年	83	17.3%	571	34	0	4	4	3	43	54	41%	9%	19	6	79
2020年	79	17.8%	560	29	0	4	4	8	33	49	37%	9%	25	8	82
2021年	79	18.1%	528	28	0	5	2	5	30	42	35%	8%	24	8	74
2022年	77	18.0%	498	33	0	4	4	2	35	45	43%	9%	24	5	74
2023年	77	18.9%	500	40	1	4	6	3	47	61	52%	12%	18	4	83

2023年度調査より　構成単組における女性執行委員選出率が過去最高となりました

■青年女性協議会の活動（ステップUPセミナー・その他）

2023年ボランティア活動（フードドライブ&エコキャップ）

2023年・ステップUPセミナー（Grワーク・BBQ・懇親会）

2023年・政策制度セミナー（Grワーク）

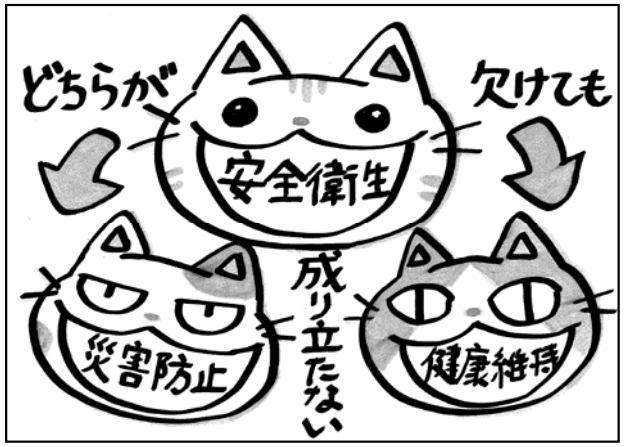
2023年・ステップUPセミナー（スポーツ交流）

■安全衛生部会の活動（安全衛生交流集会他）

JAM甲信では、安全衛生部会を設置し、労働災害実態調査を毎年実施している他、毎年6月には安全衛生交流集会を開催し、「安全無くして生産無し」をスローガンに安全衛生活動にも力を入れています。

2023年第15回安全衛生交流集会・研修会

「安全に絶対はない」を説く辻講師



2023年度・イラストコンクール「佳作」作品

■性別・当該作業従事期間別発生状況（2023年労災調査より）

期間区分	%	件数（計）	不詳	男	女
0-4年	64.6%	95	7	78	10
5-9年	12.2%	18	2	16	0
10-14年	7.5%	11	0	11	0
15-19年	4.1%	6	0	6	0
20-24年	2.7%	4	0	3	1
25-29年	3.4%	5	1	3	1
30-34年	4.1%	6	0	5	1
35-39年	0.7%	1	0	1	0
40年以上	0.7%	1	0	1	0
合計	100.0%	147	10	124	13

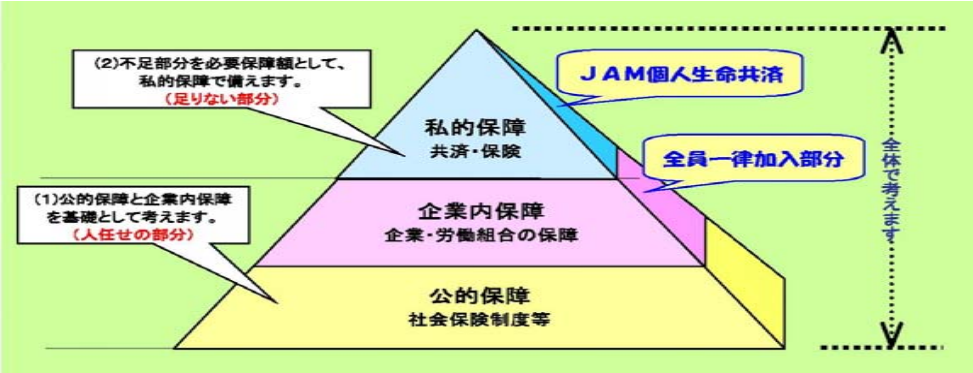
2023年度・ＪAM安全標語コンクール

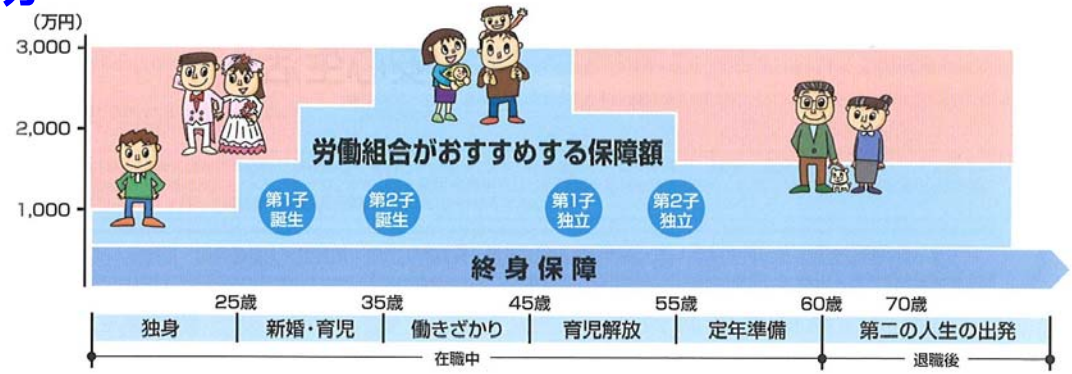
「入選」作品

慣れと勘　それは危険と　紙一重

活動4：みんなで助け合う！

★共済活動
★労働金庫活動
★仲間の製品あっせん活動
★福利厚生施設の紹介活動





★多彩なメニューをそろえたＪＡＭ共済

全国38万人のスケールメリットを活かしたJAMの共済。「小さな掛け金でおおきな保障」の考えを基本に、全員加入のハート・団体共済と個々の組合員がニーズに合わせて選ぶ個人共済のラインナップで、火災、医療、生命、組合活動での災害に加えて老後、労働災害など、暮らしの様々な部分をカバーします。組合員一人ひとりの毎日の生活に、安心と大きなゆとりが生まれます。

■JAM共済のあらまし

安い掛金
安心保障

個人火災共済（自家・全労済型）／ふれあい共済／個人生命共済／個人医療共済／個人交通災害共済他

JAM個人共済（個人保障：3階部分）

JAM団体火災／団体生命／団体医療／組合活動共済団体交通災害／労災補償共済

JAM団体共済（保障充実：2階部分）

組合活動中の事故死亡	1,000万円	600万円	300万円	2,000万円
入　　院	日額 1,000円	日額 600円	日額 300円	日額 2,000円
死　　亡	100万円	60万円	30万円	200万円
火災全焼	30万円	20万円	10万円	60万円
掛け金	300円/月	200円/月	100円/月	600円/月
タ イ プ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	A2タイプ

JAMハート共済（一律加入：1階部分）

※2020年7月から入院保障の日額が増額されました。

■JAM甲信　ハート基金

☆「年末カンパで集まったお金は、地域貢献にも役立てるべき」との声から2016年度よりJAM甲信・ハート基金がスタートとしました。

　具体的には、地域において「次世代育成」、「子供の健全育成」、「若年層の就労支援」をテーマに活動している団体・施設に一定額を寄付する内容であり、贈呈先の選定は、連合山梨やNPO法人長野県みらい基金と連携して行なう事となりました。

＜2023年度　贈呈先＞

助成先	概要	市町村	贈呈日	寄付金	寄付金の使途
NPOフリーキッズ・ヴィレッジ	不登校学童支援など	伊那市	6月29日	8万円	木工小屋づくり費用の一部
伊南子ども劇場（運営委員会）	子供の健全育成と交流	駒ヶ根市	〃	〃	テント＆プロジェクター購入費
NPOもりの学校	子供の健全育成	飯田市	〃	〃	プログラミング機材の購入
一般社団法人・恩返しIILA	子供の情操教育	飯田市	〃	〃	缶バッジ作製機の購入など

伊那市：「フリーキッズ・ヴィレッジ」

飯田市：「もりの学校」

活動５：健全な労使関係の構築！

☆生産性三原則（①雇用の維持・拡大、②労使の協力と協議、③成果の公正な配分）でも謳われている通り、企業の利益を確保し、発展させることが、雇用の確保と労働条件の向上につながるとの基本的な考え方の下、その達成には健全な労使関係が必要であるとの観点で、山梨・長野の両県で労使会議を設置し、工場見学や研修会等を開催し、健全化を促進しています。

2019年度・山梨・長野労使会議合同ベトナム視察

2023年・長野労使会議・サントリー社のSDGsセミナー

活動6：人と組織を守る！

★専従オルグによる日常的な相談と指導
★合理化・雇用問題対策への支援・指導
★日常的な企業経営チェック指導
★信用調査機関による企業情報の提供
★行政、議員、業界団体への働きかけ

★ＪＡＭ顧問弁護団も単組・組合員をサポート

本部の顧問弁護士は13人。各地方JAMでも多くの顧問弁護士を配置しています。JAM顧問弁護士団は、単組の交渉・闘争などの労働問題にかかわるだけでなく、「電話法律相談窓口」を毎月開催し、組合員個々の日常生活で派生する諸問題についても法律問題に応じています。組合員一人ひとりを大切にする、JAMならではの活動です。

■JAM甲信の主な年間活動　その1

		中央執行委員会 書記長会議	本部研修会等	三役会議 執行委員会	地区協会議	労使会議 専門委員会 専門部会	青年女性協	研修会等
9月	JAM第25回定期大会 8/31－9/1 **甲信第25回定期大会** **9/15－16**	中央執行委員会①　9/1		**※執行委員会⑧　9/6** **※執行委員会⑨　9/15**	単組代表者会議①			
10月		中央執行委員会②　10/4 全国書記局員会議 10/15-16 書記長会議①　10/16	JAM第24回広報セミナー 11/1-3	**三役会議①　10/12-13** **執行委員会①　10/13** **事務局長会議①　10/13**	幹事会①　10/16の週	男女共同参画委員会①	常任幹事会① **共済ユニオン定期総会＆10周年記念式典** **11/18**	**単組役員研修会①　9/23**
11月		書記長会議②　11/6-7 中央執行委員会③　11/18				教宣部会① 山梨労使会議① 長野労使会議①		**単組役員研修会②　11/11** **甲信広報セミナー　11/11** **共済推進全体会議　11/18** **個別賃金研修会　※保留**
12月			春闘中央討論集会 12/3-4	**三役会議②　12/8** **執行委員会②　12/8-9**	幹事会②　12/11の週 ※春闘方針の討論集会説明		常任幹事会②	
1月	第43回中央委員会　1/19 **甲信第25回地方委員会** **1/27**	中央執行委員会③　1/18			地区協旗開き 全単組　春闘オルグ実施 1月～2月 ※統一要求提出日(2･20)まで			**甲信政策制度討論研修会** **1/27 PM**
2月		書記長会議③　2/8-9 中央執行委員会⑤　2/22		**執行委員会③　2/7** **（政治連盟総会）**	幹事会③　2/13の週	男女共同参画委員会② 安全衛生部会①		**単組役員研修会③** **2/3**
3月		委員長･書記長会議① 3/21		**三役会議③　3/26** **執行委員会④　3/26**	単組代表者会議② 4/1の週	女性組合員の集い ※地区協単位 12月～6月	常任幹事会③	共済地区･ﾌﾞﾛｯｸ推進会議 3～5月
4月		中央執行委員会⑥　4/19		**執行委員会⑤　4/18**	幹事会④　4/22の週	男女共同参画委員会③ **男女参画セミナー** **4/6**	常任幹事会④ **ハートエイド21　4/6**	**※国会訪問　4/18**
5月	第44回中央委員会　5/24	書記長会議④　5/9-10 中央執行委員会⑦　5/23				安全衛生部会②	政策制度セミナー ※地区協単位 3月～5月 常任幹事会⑤	
6月		書記長会議⑤　6/10-11	政策制度討論集会 6/9-10	**三役会議④　6/5** **執行委員会⑥　6/5**	幹事会⑤　6/10の週	調査部会①	**ステップアップセミナー** **6/29-30**	**第16回安全衛生交流集会** **6/14-15**
7月		書記長会議⑥　7/4 中央執行委員会⑧　7/18		**三役会議⑤　7/5**		男女共同参加委員会④ 長野労使会議②		
8月	JAM第26回定期大会 8/29-30　※会場調整中	中央執行委員会⑨ 8/28		**三役会議⑥　8/7** **執行委員会⑦　8/7**	幹事会⑥　8/19の週		常任幹事会⑥	
9月	**甲信第26回定期大会** **9/13-14**			**執行委員会⑧　9/4** **執行委員会⑨　9/13**				

■JAM甲信の主な年間活動　その２－１

JAM甲信定期大会

定期大会翌日の研修会

県単位で労使会議の開催

県連合の定期大会で課題提起

共済推進全体会議・研修会

地区協毎に賀詞交歓会・旗開きを開催

春闘方針を地方委員会で決定

国会見学＆山梨・長野選出議員との懇談会

JAM甲信政策制度討論研修会

■JAM甲信の主な年間活動　その2－2

男女参画セミナー

地区毎にメーデーに参加

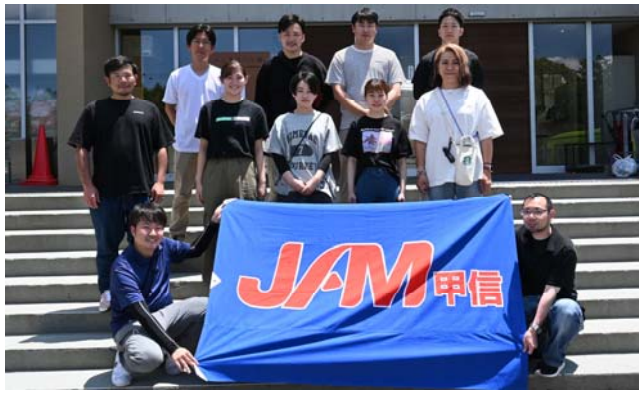
単組役員研修会(模擬交渉の場面）

シニアクラブ・マレットゴルフ大会

地区協毎の政策制度セミナー＆イベント

地区協毎の 女性組合員の集い

安全衛生交流集会



ステップUPセミナー

JAMの定期大会への参加

Q1. JAM加盟の必要性とメリットは？

その1

1.情報収集

労使交渉に必要な同業他社や地域の情報（労働条件や業況）収集が容易になります。具体的には、加盟した部会の動向やJAM甲信(70交渉単位)の情報など。
※部会加入は任意です。

2.労働組合活動の強化

労働組合として機能を発揮するには、労働法制から始まり労使関係のノウハウまで様々な情報や学習が必要となりますが、JAMでは法改正の資料・解説などを送付することはもとより研修会の開催や学習会の講師派遣なども行っています。

Q1. JAM加盟の必要性とメリットは？

その2

3.危機管理

労使間の争議が発生した時や企業が経営危機に陥った時にJAM甲信はもとより、JAM本部、顧問弁護団など知識・経験共に豊富なメンバーが支援にかけつける体制が整っています。

4.福祉活動の充実

ハート共済から始まり様々な産別共済（全労済提携含め）があることから労働組合として組合員の身体や財産などの保障やライフプランの設計に貢献できます。

Q1. JAM加盟の必要性とメリットは？

その3

5.政策制度課題の実現

企業内組合では、解決できない政策制度課題などに対してJAM加盟＝連合加盟となることから、そのスケールメリットを活かして課題を実現に近づけることができます。
また、JAMでは多くの友好議員や各級組織内議員を有している事から政策制度課題実現の他、様々な課題解決にも助言が可能となっています。

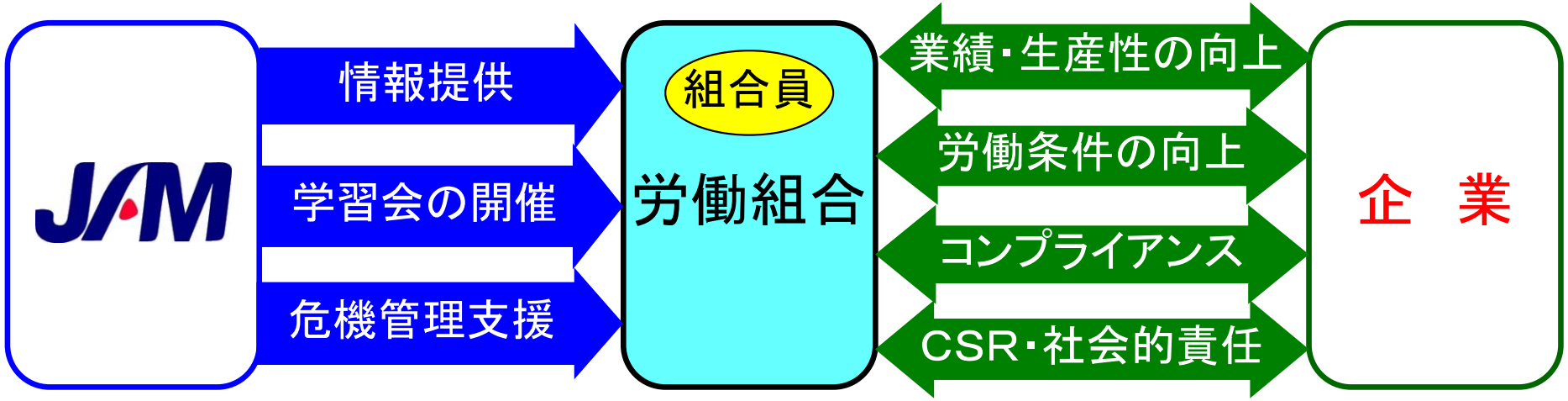
Q2. JAM加盟に対して会社の理解は？

★労働組合がしっかりしていることは、会社にとってもプラス！

1. 会社に対して状況に応じた適切な要求を出し交渉する
2. 企業のあり方についても意見を述べ提言する
3. 組合員（従業員）の気持ちをまとめる

この3点は労働組合の基本的活動ですが、最近ではそれ以外にも労使で環境や少子化なども含め協議せざるを得ない時代になっています。

JAMは基本的活動から新たな課題まで様々な形で単組をサポートします。



企業の社会的責任（きぎょうのしゃかいてきせきにん **CSR**: Corporate Social Responsibility）は、持続可能な社会を目指すためには、行政、民間、非営利団体のみならず、企業も経済だけでなく社会や環境などの要素にも責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念です。

■経営者から見た労働組合　その1

★トヨタ自動車　奥田会長

（2002年7月24日　全国労組生産性シンポジウムでの講演より）

「労働組合は組合員が組合費を払って、執行部のサービスを買うだけであるとか、執行部は組合員から手数料を受け取って代理にエージェントをやっているような組合であるなら、経営者にとって労働組合の存在価値は皆無に近いものです。全ての組合員が組合活動に参加して、執行部の指導の基に民主的手続で決められた運動方針に従って活動する。こういう組織力があるからこそ、経営陣は労働組合に最大限の敬意と配慮を払うのです。その組織力が最大限発揮されることが生産性運動なのです。」

「私は個人的には労働組合に入っているが、自分が参画していないというように、意識が希薄な組合員が増加しているという、感じに受け止めています。こういう組合員は生産性運動への参加意識も低いでしょうから、経営サイドにとっても大きな問題です。組合員自身からチェックオフ協定を廃止しろとか、ユニオンショップ協定を解消しろとか、こういう声があがるとしたら、経営にとっても大きな打撃になります。もちろん、組合も大きな問題意識をもって解決に当たっていると思いますが、労組だけでなく、経営サイドにとっても非常に大きな問題であることを改めて申し上げます。労使間の健全な緊張関係を維持して、経営に対する提言などを通じて企業経営に限らず会社全般に関するよき牽制機能を果たしていただきたい。」

■経営者から見た労働組合　その２

★ヤマト運輸　小倉昌男元会長

（「小倉昌男経営学」第10章『労働組合を経営に生かす』より）

「私は労働組合が絶対必要だと思っています。管理職は絶対といっていいほど悪い情報はトップに上げてこない。悪い情報を伝えてくれるのは組合だけです。悪いところがあるのに痛みを感じなかったら、経営はだんだん悪くなる。痛みを伝えるのは組合しかない。組合が無ければ安心して経営できない。だから、私は組合の存在を重視している。」

おわりに

労働組合は、労働条件の向上を図ることはもとより企業経営のあり方をチェックして提言する力を持たなければなりません。更にグローバル化やM＆A、成果主義が当たり前の今日では一層その力が必要となっています。

労働組合としてその様な力をつけるには、他の企業（労働組合）での経験を知り、より多くの情報を集め、そして学び労働組合としての総合的な力量を高めていくしかありません。

JAMは、「一番面倒見の良い産別」をモットーとしており、加盟組合が必要とする情報や経験交流・学習の場を提供できる産業別労働組合です。

皆さんもJAMの一員として、一緒に活動してみませんか！